

2022. 4.1 改定

介護職員等特定処遇改善加算に基づく職場環境等の取組について

令和元年10月に新設されました「介護職員等特定処遇改善加算」の算定に伴う取得要件について、賃金以外での取組を、以下に示しますのでご参照ください。

算定区分

社会福祉法人 明翠会は算定区分【特定加算Ⅰ・Ⅱ】を取得しています。

取得事業所

【特定加算Ⅰ】

- ・ 特別養護老人ホームなのはな苑ふくおか
- ・ デイサービスセンターなのはな苑ふくおか
- ・ 地域密着型特別養護老人ホームなのはな苑むつみ
- ・ 小規模多機能型居宅介護事業所なのはな苑むつみ
- ・ 地域密着型特別養護老人ホームなのはな苑うえじ
- ・ グループホームなのはな苑ねむのき

【特定加算Ⅱ】

- ・老人短期入所事業所なのはな苑ふくおか
- ・ヘルパーステーションなのはな苑ふくおか

取組（Ⅰ）入職促進に向けた取組

- ① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針等、その実現のための施策・仕組みなどの
明確化

・法人の経営理念・行動規範や事業所のケア方針などを会議前に全員で唱和し、法人の方向性を
共通理解しています。
- ② 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の
仕組みの構築

- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用を実施し、一人でも多く「なのはな苑で良かった」と言ってもらえる環境を整えています。

③ 職業体験の受入れや地域行事への参加・主催等による職業魅力度向上の取組の実施

- ・職業体験の受入れや地域行事への参加により、法人の魅力を発信しています。

取組（Ⅱ）資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ### ① 働きながら介護福祉士を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援
- ・研修の受講時の他の介護職員の負担軽減するために代替職員の確保を行っています。
 - ・資格取得支援制度を始めとする資格取得一時金等、資格取得のための支援を実施しています。

- ・喀痰吸引や認知症介護実践者講習、管理者講習等受講の費用負担や受講時の勤務扱いなどの支援を行っています。

- ・社内研修や中堅職員、管理職へのマネジメント研修を実施しており、事業所間の垣根を越えて資質の向上に努めています。

② 新人介護職員の早期離職防止のため、エルダー・メンター制度等の導入

- ・新人職員の OJT として、プリセプター制度を採用し人材育成を実施しています。

③ 上位者・担当者等によるキャリアアップ等に関する定期的な相談機会の確保

- ・リフレクションシートにより面談（2回/年）を行っています。

取組（Ⅲ）両立支援・多様な働き方の推進

① 子育てや家族等の介護と仕事の両立を目指す職員のための休業制度等の充実

- ・ワークライフバランスの推進、働きやすい職場構築を行っています。

② 職員の事情や状況に応じた勤務シフトや短時間勤務正規職員制度等の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換制度等の整備

- ・職員の事情や状況に応じた勤務シフトを作成すると共に、職員の希望に即したパート職員から正規職員への転換を推奨しています。

③ 有給休暇が取得しやすい環境の整備

- ・有給休暇が取得しやすい環境を構築しています。

④ 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等の相談体制の充実

- ・メンタルヘルス等の職員（心身～環境までの全て）の相談を行っています。

取組（Ⅳ）腰痛を含む心身の健康管理

- ① 介護職員の腰痛対策を含むの負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入
及び研修等による腰痛対策の実施

- ・ 職員の負担軽減のために特養（３事業所）に機械浴（リフト浴）を導入しています。

- ② 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施

- ・ 管理者は社外研修に参加し最新の情報を学んで各種制度を整備しています。

- ③ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制整備

- ・ 事故・トラブルをリスクマネジメント委員会で報告し、全部署にて情報共有しています。

- ・ 対応マニュアル等を作成し、事故・トラブルの減少・軽減を図っています。

- ・ 常に働き方改革を考え、より良い働き方を模索すると共に環境改善を行っています。

取組（V）生産性向上のための業務改善の取組

- ① タブレット端末やインカム等の ICT 活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減
- ・ 介護記録ソフト導入により、タブレット（iPad）入力にて記録を活用しています。
 - ・ Wi-Fi 環境を活用し、どこでもタブレット入力できる仕組みを整備しています。
 - ・ インカムを導入して職員間の連絡を効率化し、より働きやすい環境を構築しています。
 - ・ 見守り支援システム（眠りスキャン）を導入し、入居者の安全を確保しながら、職員の負担軽減を図っています。
- ② 高齢者の活躍
- ・ 65 歳以上の方も、一人ひとりできる業務を担って生き生きと働き活躍しています。
- ③ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減

- ・記録・報告書の電子化により共有ファイルに保存することで、だれでも見られる仕組みを構築しています。

取組（VI） やりがい・働きがいの醸成

- ① ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを生かした勤務環境やケア内容の改善
 - ・個々の介護職員の気づきを個別ケアに活かすために気づきシートを作成し、ほんの少しの気づきでも記入し職員の情報共有を図っています。
- ② 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施
 - ・地域の小学校に出前介護講習を実施すると共に、施設見学の受入れを行っています。

- ・ 幼稚園保育園児、小中学校の児童の訪問を積極的に受け入れています。

③ 利用者本位のケア方針などの介護保険や法人理念等を定期的に学ぶ機会の提供

- ・ 個別ケアを中心に介護を行っています。

- ・ 各会議にて法人の理念等の唱和・新しい介護保険情報の提供を行っています。

④ ケアの好事例や利用者・その家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

- ・ ケアの好事例や利用者・その家族からの感謝の気持ち等を情報シートに提供し紹介することで、職員のモチベーション向上に繋がるように努めています。